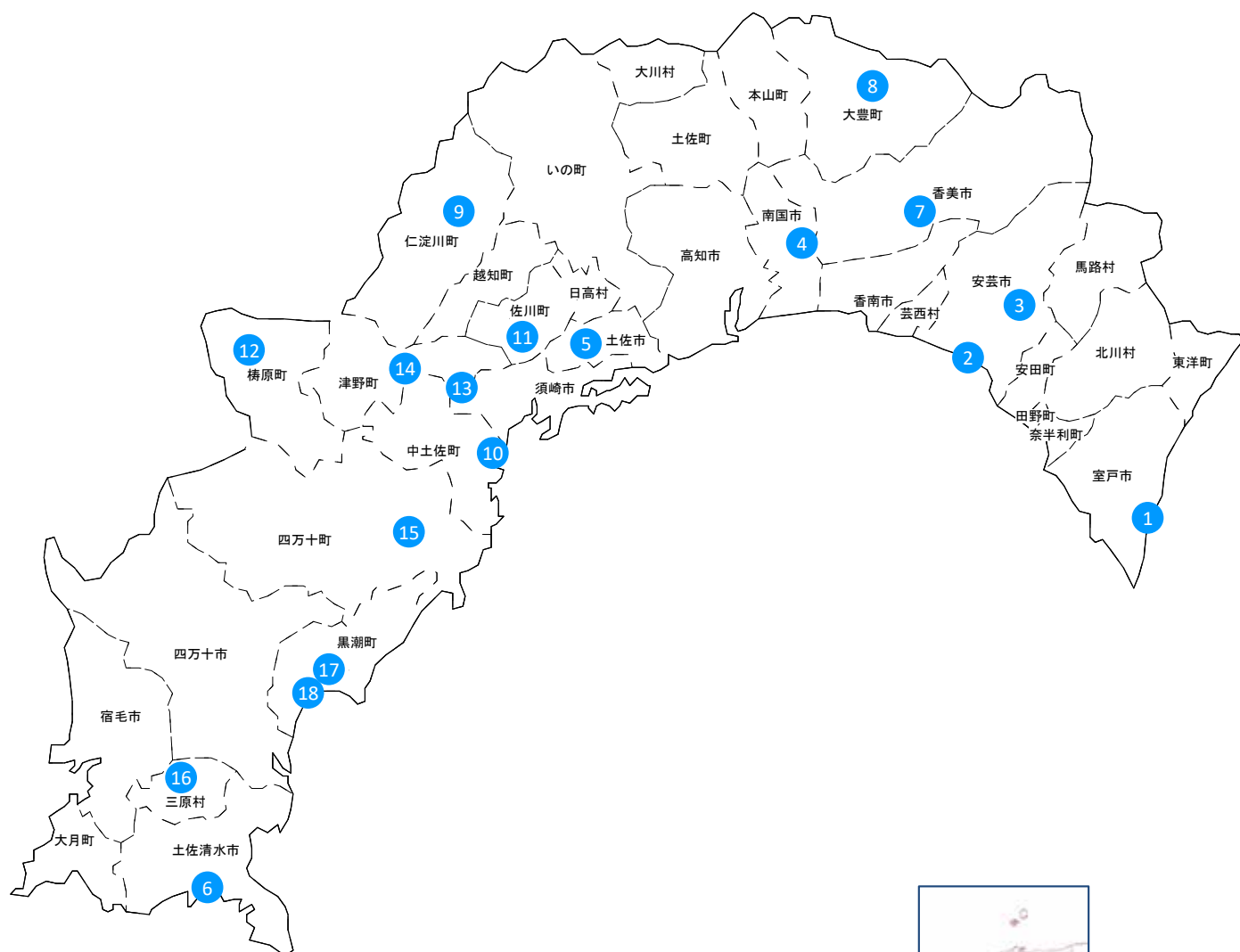


高知県

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第11回選定) 応募地区(者) 一覧 (高知県)

No.	選定 地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取組		
①	地方 奨励賞	団体	室戸市	むろと廃校水族館	水産業	移住・定住	食育・教育
②	地方 奨励賞	団体	安芸市	安芸「釜あげちりめん丼」楽会	食育・教育		
③		団体	安芸市	入河内大根のこそう会	農業	地産地消	伝統の継承
④		団体	南国市	農家レストラン「まほろば畑」	地産地消	伝統の継承	女性の活躍
⑤		団体	土佐市	有限会社 戸田商行	伝統の継承	環境保全(農林水産業・食品産業)	その他(多様な機関との連携)
⑥		団体	土佐清水市	株式会社サクセス 道の駅めじかの里 土佐清水	地産地消	関係人口の創出	その他(道の駅を通じた地域間交流)
⑦		個人	香美市	西村 直子	農泊	ジビエ	食育・教育
⑧		団体	大豊町	東豊永集落活動センター推進協議会	林業	荒廃農地対策	関係人口の創出
⑨		団体	仁淀川町	清流ファーム合同会社	農業	雇用	農福連携
⑩		団体	中土佐町	大正町市場協同組合	水産業	6次産業化	食育・教育
⑪	地方 奨励賞	団体	佐川町	特定非営利活動法人とかの元気村	農業	高齢者の活躍	農村環境・景観保全
⑫	地方 奨励賞	団体	梶原町	集落活動センター四万川	農業	関係人口の創出	その他 (地域住民のくらしを守るための活動)
⑬		団体	津野町	津野町まちづくりネットワークfuu-hot(フーホット)	女性の活躍	関係人口の創出	その他 (地域活性化、地域連携)
⑭	地方 奨励賞	団体	津野町	船戸活性化委員会「四万十川源流点」	女性の活躍	農村環境・景観保全	関係人口の創出
⑮		団体	四万十町	JA高知県四万十エコ栽培米生産部会	農業	食育・教育	高齢者の活躍
⑯	地方 奨励賞	団体	三原村	一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ	農業	高齢者の活躍	関係人口の創出
⑰		団体	黒潮町	一般社団法人であいの里蜷川	6次産業化	地産地消	女性の活躍
⑱	地方 奨励賞	団体	黒潮町	株式会社黒潮町缶詰製作所	農業	水産業	雇用

応募地区所在市町村図（高知県）



地方
奨励賞

はいこうすいぞくかん
むろと廃校水族館
廃校にハイッ行こう！

概 要

- 旧小学校を改修し平成30年に開館。NPO法人日本ウミガメ協議会が運営。室戸市でのウミガメの調査に地元漁師の協力を得られるようになり、調査継続の拠点として運用開始。
- 地元の定置網で獲れた売れない、食べられない、傷ついた未利用魚を中心に展示し、室戸の海の魅力を発信。
- 施設は小学校の校舎を再利用しているが、図書室には海の生き物や高知県に関連する書籍を置き、教室をほとんどそのままの状態で解放。

成 果

- 令和5年度は88,000人近い入館者が訪れ、室戸市における観光の目玉となり、地域の活性化に大きく寄与している。
- 職員は県外出身の移住者で、研修生の中には漁師になる人もいる（6名）。室戸市の移住促進・就職支援にも貢献。



25mプールでサメが泳ぐ



アカウミガメの計測



「せいくらべ」企画開催

〒781-7101 室戸市室戸岬町533-2
0887-22-0815 murosui@umigame.org

関連情報はこちら ▶

地方
奨励賞

あき かま どん がっかい
安芸「釜あげちりめん丼」楽会
じゃこ食文化で郷土愛を育むじゃこ!!

概 要

- 平成22年に設立し12団体21名で活動を開始。現在の構成員は19団体43名。安芸沖で獲れるちりめんじゃこなどの地域食材をPRすることにより、地域産業の振興や郷土愛の向上を図る取組。
- 平成25年以降、じゃこサミットを開催し安芸市をじゃこの聖地として全国へPR。

成 果

- パンフレットなどの設置、配布、SNS等の活用により店舗を紹介。親子で楽しめるじゃこ文具等のグッズ作成、出店販売、着ぐるみによる活動、出前授業、県外との交流なども実施。
- 毎月15日を「じゃこの日」として制定。のぼりなど作成。毎月15日には保育・学校の給食でじゃこ料理を提供。



全国ご当地じゃこサミットの開催風景



小学校でのじゃこの日給食



広島市安芸区との交流（のろしりレー）

〒784-0004 安芸市本町3丁目11-5
0887-34-1311 aki005@cciweb.or.jp

関連情報はこちら ▶



にゅうがうちだいこん かい 入河内大根のこそう会

入河内大根で交流の輪を広げよう

概要

- 入河内地区に古くから伝わってきた入河内大根を保護・継承し、地域活性化を図るため農家を中心に会を結成。収穫体験や調理体験をとおして、まちとむらの交流を行っている。
- 地元の市指定管理者の温泉施設と連携して「入河内大根定食」をメニュー化。提供は1月中旬～2月下旬と短期間だが、毎年訪れる人や遠方から足を運ぶ人もいて、旬の味覚として知られている。
- 量販店や市場を通じた販路の拡大に取り組んでいる。



学生の収穫体験

成果

- 高知市内の飲食店等でメニュー化され、県を代表する伝統野菜として知名度が向上し、入河内地域の認知度も高まった。
- グループや遠方から訪れる人々も徐々に増え、収穫体験などの交流を通じて地域活性化に貢献している。
- 冬季には、入河内大根が親しい人への贈り物やコミュニケーションの媒介として大きな役目を果たしている。



こまどり温泉の入河内大根定食

〒784-0272 安芸市入河内588 (東川公民館内)
0887-32-3031 norin01@city.aki.lg.jp

関連情報はこちら ▶



のうか ばたけ 農家レストラン「まほろば畑」

旬の南国野菜がいっぱい農家レストラン

概要

- 毎月1回バイキング形式で農家レストランを開催。地域野菜を使ったメニューの考案から料理提供までを行う。
- 野菜や山菜を寿司のネタにした土佐の郷土料理「土佐田舎寿司」を盛り上げようといわれている高知県内の各種イベントへ出店。地域の農産物を使った「まほろば畑」ならではの「土佐田舎寿司」を販売し、地域食材の美味しさや、ふるさとの味の伝承を行う。



農家レストランのオープン時の様子

成果

- 平成22年10月にオープンした農家レストラン「まほろば畑」は、令和5年7月には来店者数7万人を達成。旬の野菜をふんだんに使った料理を提供することで、南国市産野菜の認知度アップと地域野菜の消費拡大に貢献。生産者と消費者をつなぐとともに地域の活性化にも寄与している。



農家レストランのバイキング料理盛付け

〒783-8501 南国市大塚甲2301 (南国市役所 農林水産課)
088-880-6559 n-chisan@city.nankoku.lg.jp

関連情報はこちら ▶





ゆうげんがいしゃ とだしょうこう
有限会社 戸田商行

里山の宝を世界に～日本最期の木毛屋の挑戦

概要

- プラスチック製緩衝材にシェアを奪われ衰退する中、伝統の継承を大切に、天然緩衝材「木毛（もくめん）」にこだわり作り続け、木育活動、地域連携に取り組み、持続可能な社会の実現を意識して活動。
- 杉・桧の枝葉や廃棄文旦など、未利用だった地域資源を活かしたエッセンシャルオイルの製造販売。

成果

- 地域資源を活用した新たな商品開発により、地元農業者や障害者施設の所得向上に貢献。
- 新たな商品（エッセンシャルオイル）は、輸出により売上を伸ばしている。
- 「文旦オイルプロジェクト」を令和4年度に立上げ、地元から文旦受入れ、障害者施設で皮剥、自社で蒸留の地域連携で取り組み、新たな価値を地域還元する仕組みを構築。



木毛製造の様子



木毛を使った木育



エッセンシャルオイル（桧・杉・文旦）

〒781-1122 土佐市本村580番地
088-855-0426 info@toda-shoko.co.jp

関連情報はこちら▶



かぶしきがいしゃ みち えき さと とさしみず
株式会社サクセス 道の駅めじかの里 土佐清水

地元（ふるさと）の魅力を道の駅を通じて発信

概要

- 令和5年4月にリニューアルオープン。高知県土佐清水市の道の駅めじかの里土佐清水と鳥取県日南町の道の駅にちなみ日野川の郷、自治体（行政）と民間企業（㈱サクセス）が協力する形で地域間及び物産品の交流を始めた。
- お互い深刻な悩みである農林水産業の後継者不足や過疎化などを道の駅を通じて解消すべく、行政と民間が手を携えて取り組みを行い、道の駅めじかの里土佐清水の再生と発展に向けて取り組んでいる。

成果

- 売上が5千万円から1億1千万まで売上が回復、地元企業はもちろん、大数組合など衰退が深刻な漁業や農業にも利益をもたらす事が出来た。
- 地元の特産品だけでなく、鳥取県産の野菜や日南町特産のりんごなども土佐清水で購入できることになり、市民からも大変喜ばれている。



道の駅めじかの里での産品交流商品販売



土佐清水市×サクセストップ会議



土佐清水市×日南町ゆるキャラによるもちまき

〒787-0450 土佐清水市三崎西シリソメ671-1
0880-83-1103 mejikanosato@kk-success.co.jp

関連情報はこちら▶



にしむら なおこ
西村 直子

食、学び、体験・指導、農泊の全てがジビエ

概要

- 鹿肉が見向きもされず廃棄される現状に衝撃を受け、害獣から地域資源へ転換させ、ジビエを普及させる取組を開始。
- 欧州で培った料理人としてのノウハウを活かし、過疎地でも稼げるジビエビジネスアカデミーを開校。県内外の飲食店や行政関係者等を対象にジビエビジネスのノウハウを直接指導。
- 1日1組限定でジビエと田舎の日常を堪能できる農泊を運営するほか、ジビエ料理のオンラインショップやテイクアウトを行い、ジビエ食文化の振興と消費拡大を推進。

成果

- 自身の体験や成功法則、失敗談、人気レシピも提供することで、実践的かつ効果的にジビエの技術を学べ、結果、受講生が扱う肉の品質向上や売上増加、開業店舗の繁栄に繋がった。
- 空き家を宿泊施設へ転換、近隣住民からは廃棄予定の古家具や調度品を譲り受け、集落の思いと期待が詰まった施設となる。ジビエの美味しさにリピーター続出、グーグルレビューでは満点の5.0、現在はパート6名雇用。



ジビエビジネスアカデミーの様子



ジビエ料理とその魅せ方



ジビエと田舎暮らしの宿

〒781-4205 香美市香北町吉野398
080-3920-7471 nooks@outlook.jp

関連情報はこちら▶



ひがしとよながしゅうらくかつどう

すいしんきょうぎかい

東豊永集落活動センター推進協議会

集落を越えて協力し助け合う力で笑顔あふれる地域に！！

概要

- 大豊町東豊永地区にある12の集落149名の住民で構成され、地域の林業再生や新産業創出を担う「農林部」、地域内外の交流人口の拡大を担う「アクティ部」を設置し、集落活動の維持・発展、地域経済の循環に向けた仕組み作りに取り組んでいる。
- 再造林事業や薬用植物栽培試験事業、交流イベントの実施による生きがいのある地域づくりを目指す。

成果

- センター設立後の平成30年8月から、森林保全・林業再生を目的としたスギ苗等の植え付けを実施している。第1期（平成30年）から第10期（令和5年）にわたって再造林事業に取り組み、年々施業面積を拡大させている。
- 令和3年9月に東豊永集落活動センター推進協議会、小林製薬株式会社、公益財団法人高知県牧野記念財団の3者で薬用植物栽培試験事業の調印を行い、東豊永地区にある遊休農地を活用している。



再造林事業（植付）の様子



薬用植物（トウキ）の圃場

〒789-0171 長岡郡大豊町大滝498番地
090-7144-3370 yuki.centershien@gmail.com

関連情報はこちら▶



せいりゅう ごうどうがいしゃ
清流ファーム合同会社
生きがいある職場に！

概要

- 農業×福祉の融合となる「農福連携」による水耕栽培事業の展開により障害者等の社会参画実現を図る。
- 担い手の確保、野菜の産地形成、障害者の雇用（就労）の場の創出、障害者が活躍できる場の創出、障害者に配慮した働きやすい環境の創出などに取り組む。



生産現場で働く従業員

成果

- 農福連携による地域ブランドの確立。『VEGE-Well』と名付けた3種の野菜ブーケ『ピュアブーケ』を商品化。
- 仁淀川町に流れ込む沢の水を利用した水耕栽培、隣接するカット野菜工場へダイレクト出荷等、事業経費の削減に繋がっている。
- 作業工程を細分化し、ワンアクションで行えるようマニュアルを作成、障害者の意欲と能力が発揮されている。



オリジナル商品「ピュアブーケ」

〒781-1606 吾川郡仁淀川町土居乙199番地2
090-1170-4522 spmx2uq9@star.ocn.ne.jp



たいしょうまちいちばきょうどうくみあい
大正町市場協同組合
「NO KATSUO NO LIFE」な鰹乃國

概要

- 商店街の田中鮮魚店が鰹を選別し、品質保証する代わりに売値を高くして魚価を上げ、漁師を守る戦略をとり、町と連携して久礼の「鰹乃國」をブランド化。400年続く鰹食文化を商店街が中心になって守り発展させる活動を行っている。
- 一本釣りの鰹は生食、加工、漁の餌、農業用の堆肥など一匹を久礼の地域内で有効活用。冷凍鰹の外商強化、鮮魚店による小中学生への鰹食育授業を実施し人材育成などに取り組む。

成果

- 漁獲、小売、加工までの地域ワンストップ施策、鰹食文化の維持向上、久礼鰹の魚価を1kg約200円から500円までに高め、漁師の報酬を確保し、廃船を回避、人材確保に寄与。
- 高知空港に久礼鰹のオブジェをクラウドファンディングで設置したり、取材誘致をして情報発信するなど県内外へPRし、市場に年間15万人が訪れる県内屈指の観光スポットとなった。



久礼大正町市場のアーケード



高知空港で土佐久礼鰹のPR



小中学校での英才カツオ食育授業

〒789-1301 高岡郡中土佐町久礼6370-2
0889-52-2060 kure-omiyasan@mc.pikara.ne.jp

関連情報はこちら ▶



地方
奨励賞

とくていひえいりかつどうほうじん げんきむら
特定非営利活動法人とかの元気村
 地域ボランティアで助け合う『お助け大作戦！』

概 要

- 斗賀野地区の地域づくりのため活動する組織で平成17年設立。地域の核となる施設「とかの集落活動センターあおぞら」（農村RMO）を拠点に活動。
- 平成29年の集落活動センター開所以来、あったかふれあいセンターのお助け大作戦を毎年10月に実施。4～5名が班となり対象の高齢者宅を訪問。家主から事前に要望のあった作業を行う。



ボランティアへの説明

成 果

- 取組が町内で評価され、3年前から町内他地区で同様の取組が実施されるようになり、ボランティアによる共助の輪が広がっている。
- 県内の2大学からもこの取り組みが評価され、学生が当初からボランティア参加するなどの関係ができています。



エアコンのフィルター掃除

〒789-1232 高岡郡佐川町東組2692
 0889-20-9860 qqkm3xy9k@beach.ocn.ne.jp

関連情報はこちら▶

地方
奨励賞

しゅうらくかつどう しまがわ
集落活動センター四万川
 地域住民の暮らしを守るために

概 要

- 平成25年に運営母体の株式会社四万川を設立。地域住民が主体となり「できることから進める」を合言葉に暮らしを守るための取組を開始。
- ガソリンスタンド、小売販売業、葬祭事業を実施し、キジ養殖事業を継承するなど地域のニーズに応じた事業を展開。
- 遊休農地活用や配食サービスを求める声を受け、集落活動センターが「稲木米」として生産販売を担い、配食グループ「四万川家」を設立。月2回の配食と高齢者見守り活動を実施。

成 果

- 地域からのニーズに応じてホームセンター機能、農林業資材の販売、たばこ小売販売、配食サービスなどを拡充し、地域の課題を地域住民で解決していく仕組みを構築。
- 令和3年に継承したキジ養殖事業では、新たな雇用を創出。また、地元企業の若い社員3人がキジ担当として活動しており、住民からキジの餌となる余った野菜の提供を受けるようになるなど、住民と若者との会話が生まれ世代間交流も広がっている。



ガソリンスタンドと（株）四万川本社



ガソリンスタンド併設の直売所



（株）四万川雉生産部 加工・販売施設

〒785-0661 高岡郡梶原町六丁152番地
 0889-67-0831 stnntcu8998@ma.pikara.ne.jp

関連情報はこちら▶



つ の ち ょ う ふ ー ほ っ と
津野町まちづくりネットワークfuu-hot
 人が地域を繋ぎ 地域が未来をつなぐ

概 要

- 令和2年7月に津野町内でまちづくり活動に取り組む7つの地域団体が集まり、地域の現状や課題を話し合うために「津野町まちづくりに関する意見交換会」を開催。この会を機に同月末には津野町まちづくりネットワークfuu-hotを発足。
- 毎月開催される定例会には行政も参加して、地域課題についての意見交換や活動に向けた協議を行い、連携したまちづくり活動に取り組んでいる。



成 果

- 当団体を立ち上げたことで、各団体の限られた人員での日々の活動の範囲や規模が拡大した。様々な地域の特産品や加工品、地域特有の料理等を当団体が取りまとめ、イベントや観光地に出店し、販売を行うことで各団体の収入増に貢献し、多くの人に各地域の魅力を発信することが可能となった。
- 新たな地域との連携が生まれ、各団体の機運が更に高まった。各地域が連携して地域活性化を図る活動は行政にも届き、町全体の発展と各団体の活動の継続発展に大きく貢献をしている。



〒785-0210 高岡郡津野町貝ノ川床鍋392番地2
 090-1007-6479 morinosubako@do-spot.net

地方
 奨励賞

ふなとかっせいかいいんかい しまんとかわけんりゅうてん
船戸活性化委員会「四万十川源流点」

船戸地区のみんなあと、ここの自然、四万十川源流点がともに輝き、賑わい続ける集落を目指す

概 要

- 平成26年に船戸活性化委員会「四万十川源流点」を設立、平成30年には「集落活動センターふなと」を開所した。
- 四季折々のイベントを実施する「交流部会」、四万十川源流点周辺の維持管理を行う「農林部会」、特産品づくりや販売を行う「加工部会」、宿泊施設を運営する「せいらんの里部会」、高齢者の見守りや防災活動、空き家対策等を行う「福祉部会」を設けて活動している。



宿泊施設「遊山四万十せいらんの里」

成 果

- 集落活動センターふなとを開所したことにより、これまで実施してきた交流活動に加えて地域の困りごとの解決や景観の維持に取り組むなど活動の幅を広げている。
- 宿泊施設「遊山四万十せいらんの里」ではランチビュッフェで地元食材を提供。県内外から観光客が増えて、宿泊者数は年間2,500人を超えている。



地域の食材をふんだんに使ったビュッフェ

〒785-0411 高岡郡津野町船戸1309-1
 0889-43-9771 funatoshimanto@gmail.com

こうちけんしまんと さいばいまいせいさんぶかい

JA高知県四万十エコ栽培米生産部会

日本一おいしいお米を作ろう!!

概 要

- 平成17年に生産者組織「エコ栽培米生産部会」の活動を開始。四万十町(旧窪川町)で米を栽培する農家で構成されており、地元ブランド米である「仁井田米」のブランドリーダーとして「JA高知県四万十厳選米」を栽培し、産地の米価格の維持向上により、生産者の安定した所得確保に取り組んでいる。
- 「仁井田米」の品種を特定し、品質基準を設定することによる新たなブランド米の確立を目指している。



圃場前でのにこまるポーズ

成 果

- ブランド米として栽培するにあたって、特別栽培米の基準に則った栽培を行っているほか、毎月実施している現地検討会を通じて、生産技術の向上や交流が深まっている。
- 毎年当部会の中から米コンテストへ出品を行っており、令和5年には静岡県で開かれた「第20回お米日本一コンテストinしずおか」にて、当部会員が栽培したにこまるが全510点の中から令和3年に続く金賞を受賞した。



現地検討会

〒786-0027 高岡郡四万十町東大奈路字丸山513
0880-22-3586 kos-shi-hanbai-beikoku@ja-kochi.or.jp

地方
奨励賞

いっばんしゃだんほうじんみはらむらしゅうらくかつどう

一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ

「安心して生活できる村」のシステムづくり

概 要

- 平成26年に高知県の政策である小さな拠点づくり構想「集落活動センター」を村全体で取り組む計画となり、村内14集落や他諸団体の意思統一に取り組み、平成30年に法人化。官民一体で活動をしている。
- 農村維持ができる事を目的とした村づくりをするため、地域の課題やニーズに応じて、福祉や産業といった様々な活動に総合的に取り組んでいる。

成 果

- やまびこカフェ運営の「店舗部」、生きがいをづくりをする「福祉支援部」、特産品の開発・販売をする「特産品販売促進部」、移住者と村民の交流を図る「移住促進部」、三原米のブランド化やししとう事業を展開する「生産部」、村の資源を掘り起こし交流人口拡大を図る「観光部」を設け、楽しく元気に暮らせる生きがいをづくり及び生産活動を継続している。



やまびこピアホール開催



大阪梅田食堂街で三原村フェア開催



年の瀬の餅つき体験

〒787-0802 幡多郡三原村宮ノ川1113番地2
0880-31-7839 mihara-yamabiko@dream.jp

関連情報はこちら▶



いっばんしゃだんほうじん

さとみながわ

一般社団法人であいの里蜷川

地域の元気・活力・魅力の発信拠点

概 要

- 平成14年に地元女性有志8名で前身となる任意組織「であいの里」を発足、平成19年に蜷川地区が参画し「であいの里蜷川」となる。平成28年に「集落活動センター」として開設するがスタッフや地区住民の高齢化、後継者不足で事業は縮小となり、事業継続と発展のため、令和4年4月に「一般社団法人であいの里蜷川」を設立した。
- 地元野菜づくりの体験事業や6次化商品を通じて地元を広くPR。黒潮町のスポーツ観光主要宿泊施設としても稼働している。



集落センターであいの里蜷川

成 果

- 県内外の来町者を、地元食材を使用した食事と田舎特有のロケーションと人情でおもてなしを実施したことにより、地域の交流人口が増加。近年の円安の影響でインバウンド（中国、ドイツ、オーストラリア他）体験者数も増加しており、地区住民主体で地区内の圃場で栽培したそばを使用したそば打ち体験や、地域文化でもある田舎寿司づくり体験を通じて文化交流も生まれている。
- 地区内外の元気で活力のある65歳以上の雇用を創出。



地区内圃場でそば刈り

〒789-1902 幡多郡黒潮町蜷川660-1

0880-44-2010 deainosato.minagawa2021@gmail.com 関連情報はこちら▶

地方
奨励賞

かぶしきがいしゃくろしおちょうかんづめせいさくしよ

株式会社黒潮町缶詰製作所

缶詰で、毎日食べたい“日（ひ）常食”

概 要

- 南海トラフ巨大地震で予測される日本一の津波高（34m）に対応する防災を考える中で、備蓄品を自ら作り、黒潮町が主体的に雇用の場を創出することを目的に、町と地元金融機関等の出資により平成26年に第三セクターとして設立。
- 高知県の豊かな食材を多彩なレシピで缶詰に加工、常温流通にて全国に展開させるパッカーとして機能している。



雇用状況：製造スタッフ

成 果

- ごはん缶詰「Canmeshi」シリーズ第1弾のパエリアは主食備蓄食料の市場開拓及び地元米農家の販路拡大に貢献。
- 缶詰の小ロットOEMが対応可能であるため、端材活用や食品ロス対策での製造依頼が県内外から相次いでいる。
- 江戸時代から生産が続く入野砂糖（黒砂糖）を一定量購入し原材料に活用するなど、伝統産業継承や生産に携わる移住者の定着に貢献。



ごはん缶詰「Canmeshi」シリーズ

〒789-1931 幡多郡黒潮町入野4370-2

0880-43-3776 info@kuroshiocan.co.jp

関連情報はこちら▶

